

# ヤンバルクイナを鳥インフルエンザから救え！

NPO法人どうぶつたちの病院沖繩は、沖縄県内の希少種をはじめとした野生動物の救護や保護活動を行っています。ヤンバルクイナの飼育繁殖や生態調査、イリオモテヤマネコの生息環境保全、希少種保全を目的とした猫の保護譲渡など、その活動は多岐に渡ります。

## 【活動背景】

ヤンバルクイナは沖縄島北部の森林地域（やんばる）のみに生息する固有種で、絶滅が危惧される希少な鳥です。近年、高病原性鳥インフルエンザが国内外で流行する事態が発生しています。最新の研究で、ヤンバルクイナはこのウイルスに弱く、感染してしまうと死亡率が極めて高くなる可能性が示されました。感染症対策を構築することは、ヤンバルクイナをはじめとする沖縄の希少鳥類全体にとって極めて重要であることから、迅速な対応が求められていました。

## 【活動目的】

沖縄県内で感染が確認された場合、感染個体の正確な診断と適切な治療すること施設内で拡散しないことが本活動の目的です。まず、野鳥の救護を受け入れる前に、万全の受け入れ態勢を整えることが必要です。さらに、鳥インフルエンザの治療・対策を行っている先事例に倣い、沖縄県内で手法を確立することが大きな課題でした。

## 【助成金の用途・活動結果】

助成金は、インフルエンザ診断のための小型のPCR機器の購入や治療のための設備充実のために活用されました。また、国立環境研究所や猛禽類医学研究所と連携し、国内での鳥インフルエンザ発生状況を速やかに共有することで、従来より迅速な対応が可能となり、今後の感染拡大防止に向けて大きな一歩となりました。幸い、令和5年度における沖縄県内での鳥インフルエンザは確認されませんでした。今回の活動で得られた知見や設備をもとに、これからの感染流行から希少鳥類を守る取り組みが期待されます。

## NPO法人どうぶつたちの病院沖繩



交通事故で脊髄を損傷したヤンバルクイナ。野生復帰が困難なため、病院でケアを続けている



鳥インフルエンザ発生に備えた陰圧ブースの設置

## 【団体からのメッセージ】

ヤンバルクイナの飼育個体群は、野生個体が万が一絶滅に瀕してしまった場合に飼育下で繁殖し増やした個体を野生に戻すことができ、絶滅回避のためにはとても重要な役割があります。しかし、現時点ではヤンバルクイナは鳥インフルエンザにかかりやすく治療方法もありません。そのためヤンバルクイナに鳥インフルエンザを感染させないこと、もし感染個体が出てしまったら感染が拡大する前に気づき、拡大することを防ぐことが重要になります。また沖縄県内には他にも希少な鳥類が多く生息しており、鳥インフルエンザを迅速に診断する体制は欠かせません。今回の助成金で迅速診断が可能となり、万が一の治療施設を整えることができ非常に心強く思っています。ありがとうございました。